

I 事業計画

令和5年度 事業計画

1 開業準備に係る事業

開業年度となる令和5年度においては、安全で安定的な運行を確実なものとするため、軌道整備事業者と協力し、試運転や習熟運転を着実に実施するとともに、開業に向けた組織体制の構築や法定手続き、開業後の利用促進に係る普及・啓発に向け、以下に掲げる事業を実施する。

(1) 開業に向けた組織体制の構築に係る事業

ア 運転士の習熟

- ・ LRTの運行に必要となる運転士の確保に向けては、これまで、全国の軌道事業者8社の協力をいただきながら着実に養成を実施してきたところであり、開業時に必要となる要員数を確保したところ
- ・ 全国の軌道事業者で、LRTの運転に必要となる「乙種電気車運転免許」を取得した運転士全員が宇都宮へ帰任したところであり、令和5年8月の開業に向けて、宇都宮ライトレールにおける学科講習、技能講習を進めているところ
- ・ 令和5年度においては、開業はもとより、本線上での試運転・習熟運転の実施や、開業後の利用者案内などに向けて、運転取扱を定める「運転取扱心得」、運送約款である「旅客営業規則」等の規程類や、運転士の教育マニュアル等を策定するとともに、安全な運行を確実に実施できるよう教育を行う。

イ 技術職員の習熟

- ・ 土木・電気・機械等の技術職においては、開業前における軌道施設の維持管理業務や、軌道事業者での技術研修を通じ、ノウハウや経験を蓄積しながら、着実な維持管理体制の構築に取り組んでいく。
- ・ また、各施設及び車両の整備の基準などを定める「軌道整備心得」、「電気施設整備心得」、「車両整備心得」に基づき、軌道施設整備を担う宇都宮市、芳賀町と協力しながら、各種施設の整備マニュアルについて策定を進める。

ウ その他

全国23の路面軌道事業者で組織する「全国路面軌道連絡協議会」に参画し、情報収集に努めるとともに、指導助言を得ながら、軌道事業者としての経営面や技術面のノウハウ・スキルを蓄積していく。

(2) 試運転、習熟運転の実施

ア 試運転

安全な運行を担保できるよう、軌道整備事業者である宇都宮市、芳賀町が実施主体となる、整備した軌道施設に運行・運用上の問題が無いか試験・確認する「試運転」について、軌道運送事業者として、市・町と緊密に連携しながら対応していく。

【主な確認項目】

- ・ 車両と停留場等の構造物との接触確認
- ・ 車両の加減速、ブレーキ性能確認
- ・ 信号・通信設備の動作確認 など

イ 習熟運転

開業後の安全で安定的な運行を確実なものとするため、運転士の運転取扱いや本社における運行管理などの技術的な習熟を図ることを目的として、車両基地内での学科、技能講習や、本線上で実際の運行を行う「習熟運転」を着実に実施する。

【主な項目】

- ・ 全線でのダイヤ通りの習熟運行
- ・ 朝夕ピークなど、時間帯別の習熟運行
- ・ 緊急時の復旧訓練 など

(3) 運賃收受の効率的な運用

- ・ 全国で初めて導入された地域連携ICカード「t o t r a」の運用が開始されたことから、引き続き「t o t r a 運営協議会」に参画し、LRTでの「t o t r a」運用に向け、乗り継ぎ等の各種割引等に係る検討を進める。
- ・ 車両長30m級車両において、全国初となる、全扉乗降によるセルフ乗降方式（信用乗車方式）での運賃收受の実現に向け、効率的な運用方法の更なる検討や利用者に対する利用方法の周知に取り組む。

(4) 運行開始に向けた法定手続きの取組

旅客運賃を定める「運賃認可」や、車両の運転速度や運転ダイヤを定める「運転速度及び度数認可」の令和5年度の認可取得に向けて取組を進めるなど、運行開始に向けた法定手続きを国などの関係機関と協議、調整を行いながら進めていく。

(5) 企業価値の向上に向けた取組

- ・ 行政と連携・協力して取り組むトータルデザインを活用し、広報計画等の検討を進めるとともに、コーポレート・アイデンティティ（C I）の考え方を取り入れながら、当社の独自性や新規性を発信するなど、企業価値の向上に向けた取組を進めていく。
- ・ 令和3年5月の増資により大会社となった現在、会社運営にあたっては、環境の変化を捉えながら最新の各種情勢を反映した経営指標を設けることが必要となることから、今後の経営指標として、当社が目指す中長期の自社の姿を描いた経営プランである『中期経営計画』を策定し、推進していく。

(6) スマートシティ実現に向けた取組

産学官が連携して推進している「スマートシティモデル事業」の実施主体となる「Uスマート推進協議会」へ引き続き参画し、LRTの運転に係るリスクアセスメントに向けた実証実験に取り組むなど、スーパースmartシティの実現に向け、効果的にLRT事業を推進する。

2 開業に係る事業

(1) 安全・安心な輸送サービスの提供

- ・ LRT開業後において、安全を第一に、利用者にとって利便性の高いLRTとなるよう、運行計画や各種利便性向上策を検討していく。
- ・ 内部監査やマネジメントレビュー、安全推進委員会などを活用し、安全マネジメント体制を万全なものにするとともに、継続的なPDCAサイクル評価を実施する。
- ・ また、宇都宮市や芳賀町、沿線自治会等と連携・協力しながら、沿線の小中学校などに向けた乗り方教室や、交通安全教室を実施する。

(2) LRTの利用促進に向けた営業活動

- ・ 運行事業者として、LRTの利用者増を図り、継続的に安定した経営を図るとともに、公共交通の利用促進に向けたモビリティ・マネジメントを推進するため、企業や学校などと意見交換を行いながら、勤務体系、通学の状況やニーズに合わせた運行計画・運賃割引制度の設定など、LRTの利用促進に向けた営業活動を実施する。
- ・ 宇都宮市や芳賀町、各種公共機関、沿線自治会等と協力・連携しながら、乗り継ぎ割引や乗り継ぎ負担軽減策などの公共交通利用に向けた取組を推進していく。

(3) 軌道施設の維持管理

軌道整備事業者である宇都宮市・芳賀町から、軌道施設の日常的な維持管理について、当社が受託することとなるため、安全で安定的な運行が実現できるよう、確実な維持管理体制を構築するとともに、業務の効率化、円滑化に取り組む。

3 普及・啓発事業

(1) 開業記念事業等の実施

全国初となる、全線新設でのLRT開業は、宇都宮市、芳賀町はもとより、全国から注目が集まる千載一遇のチャンスであることから、行政と緊密に連携し、地域や路線のアピール、また、将来の利用促進に繋がるよう、開業記念式典等の事業を実施していく。

(2) 効果的な広報活動の検討・実施

利用者のマイレール意識の醸成、また、将来的な利用促進やLRTの導入に合わせた交通安全意識の高揚を図るため、宇都宮市、芳賀町との連携・協力による住民参画の取組をはじめ、子どもから高齢者まで、様々な対象や場面ごとに、LRTに乗ってみたいと思っただけのような広報や、交通ルールやマナーをわかりやすく学ぶことができる、効果的な広報活動を検討し、実施する。

(3) 各種グッズの作成・効果的なPRの検討

- ・ 公共交通としてのLRTの魅力を発信し、利用者のマイレール意識の醸成や、将来的な利用促進を図るため、シンボルマークや、車両デザイン等を活用した魅力あるノベルティグッズを作成・販売するとともに、商標権等を活用したロイヤリティビジネスの取組を進めることで、収益の確保に向けて、グッズの販路拡大に取り組む。
- ・ t w i t t e rやI n s t a g r a m等のSNSを活用し、幅広い年代への情報発信を実施するなど、利用促進に向けた機運醸成に繋がる取組を検討、実施していく。

(4) 交通政策とまちづくりに関する調査等への参画

- ・ 株主や地元経済界が、LRT事業についてなお一層理解を深めること、また、国内外の効果的な交通施策を学ぶことで、LRT導入後の地域のまちづくりやそれぞれの事業活動に還元・寄与することを目的とした視察調査を実施する。
- ・ J R宇都宮駅西側へのLRT延伸に向け、行政が取り組む基本設計や各種会議等について、運行事業者としての立場から参画する。

II 予 算 書

令和5年度 予算

収入の部

(単位：千円)

大項目	中項目	令和5年度 予算額	備考
1 売上	1 運輸収入	509,000	
	2 商品売上	4,300	
	3 広告収入	40,660	
	4 監修収入	100	
	5 委託費	64,741	
2 営業外収益	1 負担金	177,000	
	2 受取利息	3	
	3 雑収入	220	
収入合計		796,024	

支出の部

(単位：千円)

大項目	中項目	令和5年度 予算額	備考
1 事業費	1 役員報酬	16,000	
	2 給料及び手当	378,800	
	3 法定福利費	61,000	
	4 福利厚生費	2,420	
	5 旅費交通費	8,480	
	6 通信運搬費	7,786	
	7 賃借料	67,035	
	8 地代家賃	3,900	
	9 保険料	24,540	
	10 水道光熱費	500	
	11 動力費	33,000	
	12 消耗品費	20,473	
	13 備品購入費	67,196	
	14 租税公課	62	
	15 印刷製本費	800	
	16 広告宣伝費	11,910	
	17 支払手数料	12,550	
	18 委託料	38,657	
	19 支払報酬料	5,000	
	20 新聞図書費	419	
	21 交際費	200	
	22 諸会費	200	
	23 法人税等	13,200	
	24 養成費	2,000	
	25 研修費	3,249	
	計	779,377	
2 予備費	26 予備費	2,000	
	合計	781,377	

Ⅲ 役員に関する事項

役員名簿（令和5年6月9日現在）

	役 職	氏 名	重要な兼職の状況等
1	代表取締役社長	高井 徹	元宇都宮市 副市長
2	常務取締役	中尾 正俊	元広島電鉄株式会社 常務取締役
3	取締役	野原 正祥	宇都宮商工会議所 専務理事
4	取締役	中津 正修	とちぎライトレール支援持株会 業務執行組合員 日本オービス株式会社 取締役相談役
5	取締役	田川 治道	芳賀町商工会 会長
6	取締役	吉田 元	関東自動車株式会社 代表取締役社長
1	監査役	黄合 茂	株式会社足利銀行 地域振興部長
2	監査役	市田 治雄	株式会社栃木銀行 法人営業部 副部長 兼 地域創生室長